



手すりがなく、急すぎる階段



根太付け



断熱材敷き込み



変化に柔軟な「和室」 ～～イタノマのある家～～

『イタノマのある「地域の客間」としての民泊を提案したい。』
私たちはそう考え、築60年の民家のリノベーションを行った。

中心市街地である沼垂(ぬつり)地区は敷地の制約などのため、自宅に「客間」を作る事が難しく、狭小住宅の多い地域である。そんな地域の中で住民が気軽に「客間」として使える家があれば、外に出た家族を泊める、友人を招くなど、日常に広がりを持たせることが可能となる。

イタノマの客間は、変化に柔軟で居心地が良く、老若男女、国境も越えて繋がりを持つことができるだろう。
イタノマは、和室で使われる材質と同じ物を使用しているため、和室としても洋室としても使える空間を作ることができる。

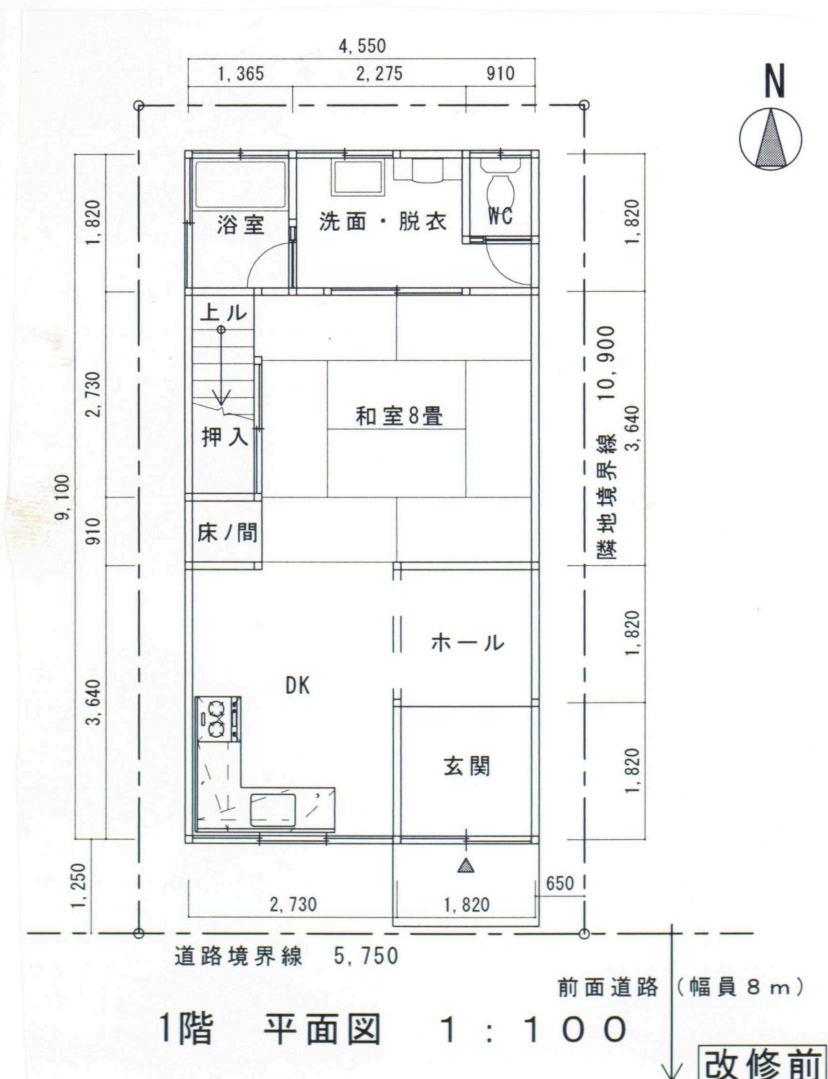
実際に伺った話では、子ども連れの家族は「親は和室のようにくつろぎながら、子どもの食べこぼしなどの汚れを心配せずに過ごすことができる」、またアメリカ人男性は「和室で座るのは苦手だが和の雰囲気を保ちつつ洋式のスタイルで食事ができるのは魅力」など、イタノマは使う側の使い方・好みに合わせて変化が可能である。

大工さんの指導のもと、居間は和の雰囲気を残したまま備前の酷かった床の畳をはがし、断熱材を入れイタノマに張り替えた。急な階段を壊して新しく緩やかに付け替え、手すりを設置した。またトイレ・玄関など必要な箇所にも手すりの取り付けを行った。2階の寝室は泊まる人数の変化に対応でき、また子どもが泊まった時も危険のないよう、そのまま畳敷きとした。
こうしたリノベーションの現場で、大工さんの技術を一緒に動きながら見て学べた事がとても有意義だった。(通常5日ほどでできる仕事を私たちと行うことで準備・段取りなども含め12日間もお付き合頂いたことに感謝したい)

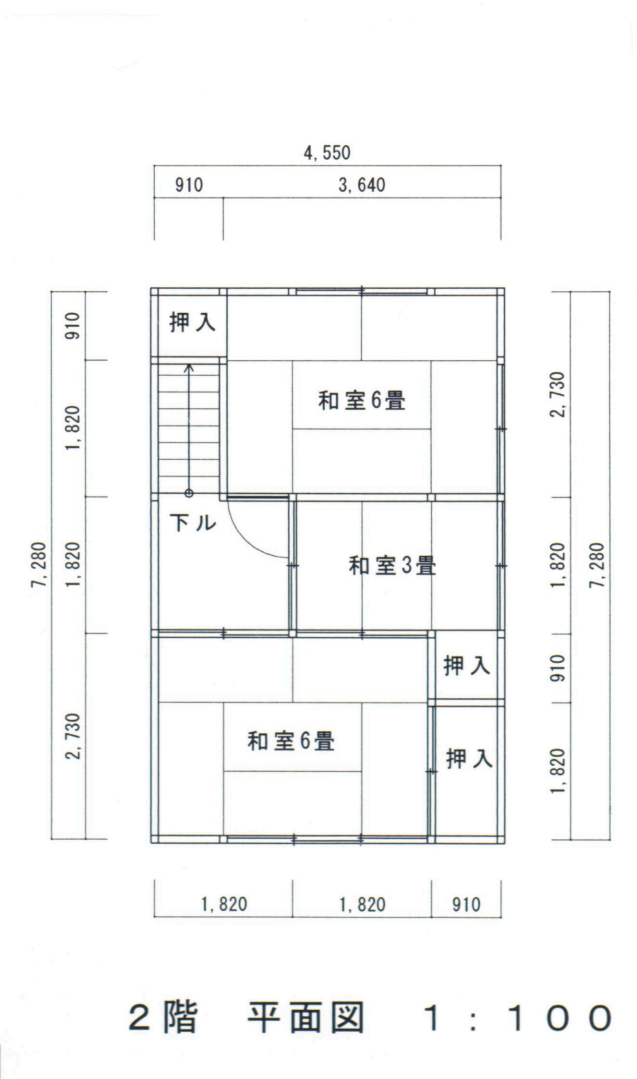
また、地域を見直す「マイクロツーリズムの拠点」にもなると考えている。
実際にこの居間に建築家をお招きして「まちあるきから見たランドスケープデザイン」という講演会を開催し、まちあるきを行い、沼垂地域の魅力に気づく事ができた。
今後は沼垂テラス等と協力し、生徒によるまちあるきガイド、DIY教室など体験型の民泊も目指しながら、SNSを利用した沼垂の魅力発信も行っていきたい。

面積表

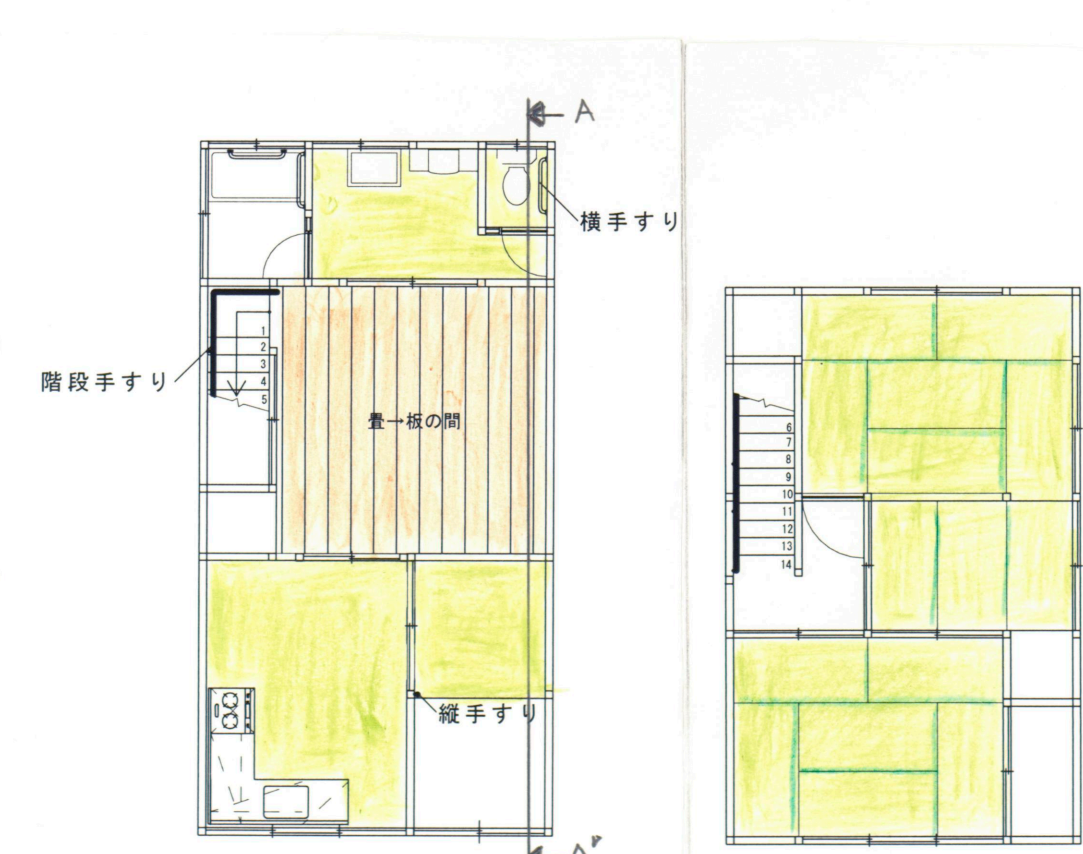
敷地面積	62.675㎡	
1階床面積	41.405㎡	12.5坪
2階床面積	33.142㎡	10.0坪
延べ床面積	74.547㎡	22.5坪
建築面積	41.405㎡	



1階 平面図 1:100 改修前



2階 平面図 1:100



1階 平面図 1:100



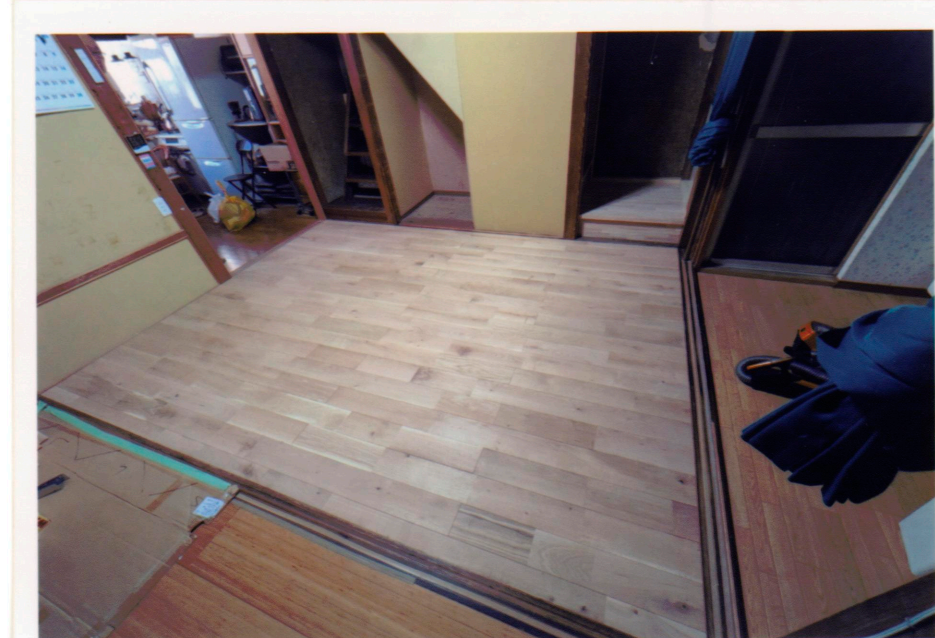
2階 平面図 1:100

改修後

捨て貼り



床完成!



階段を緩やかに



和バージョン



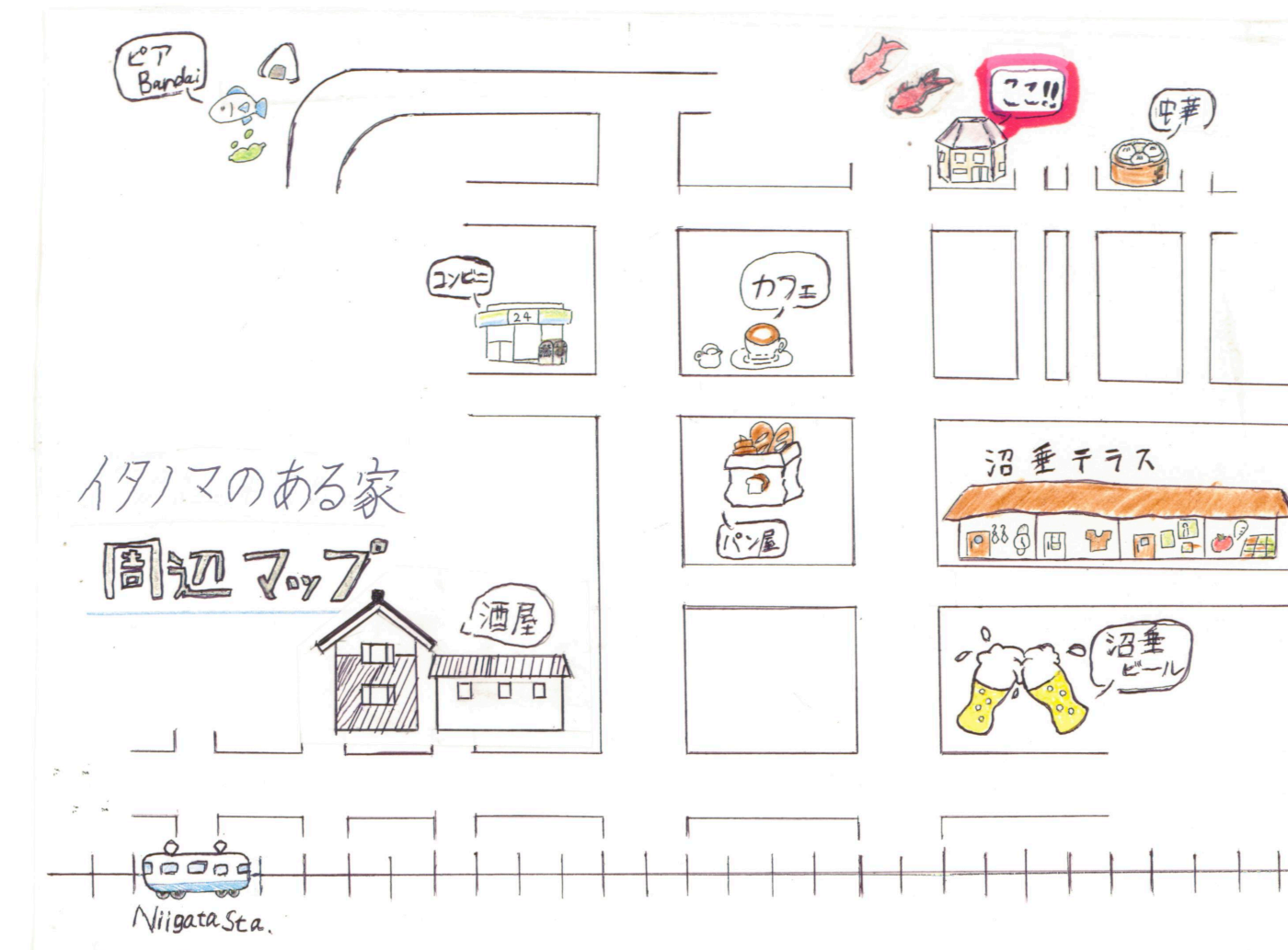
洋バージョン



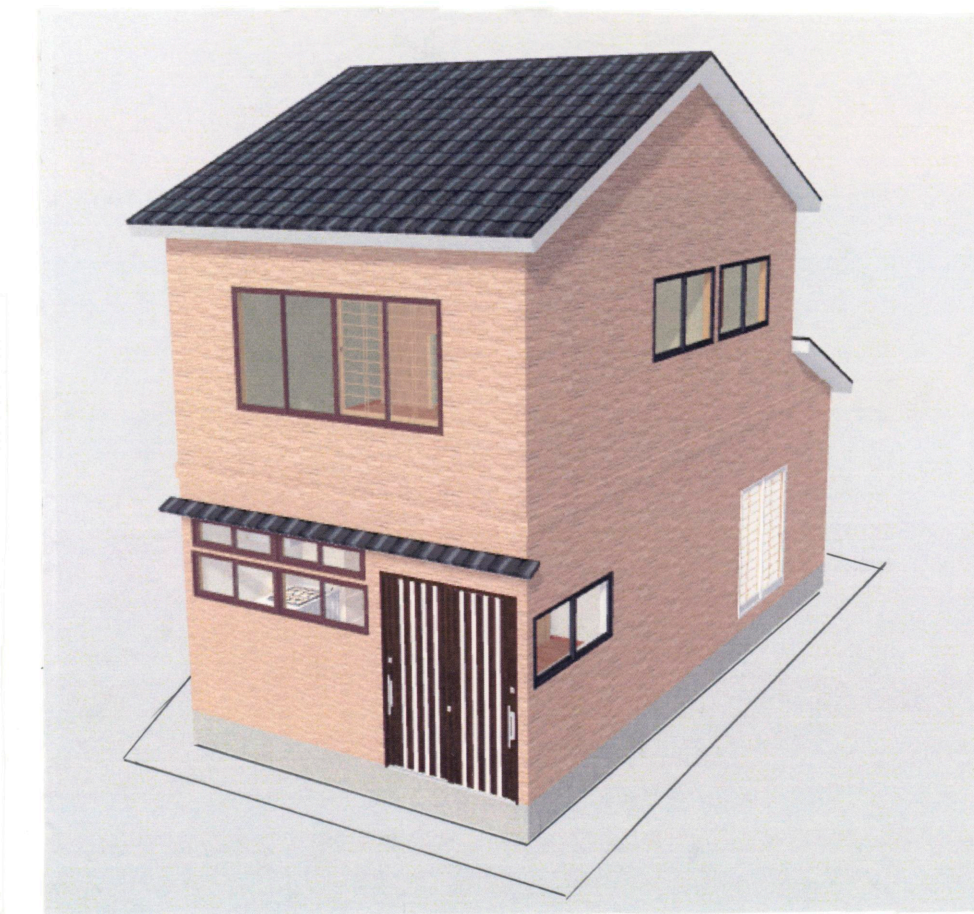
折衷バージョン



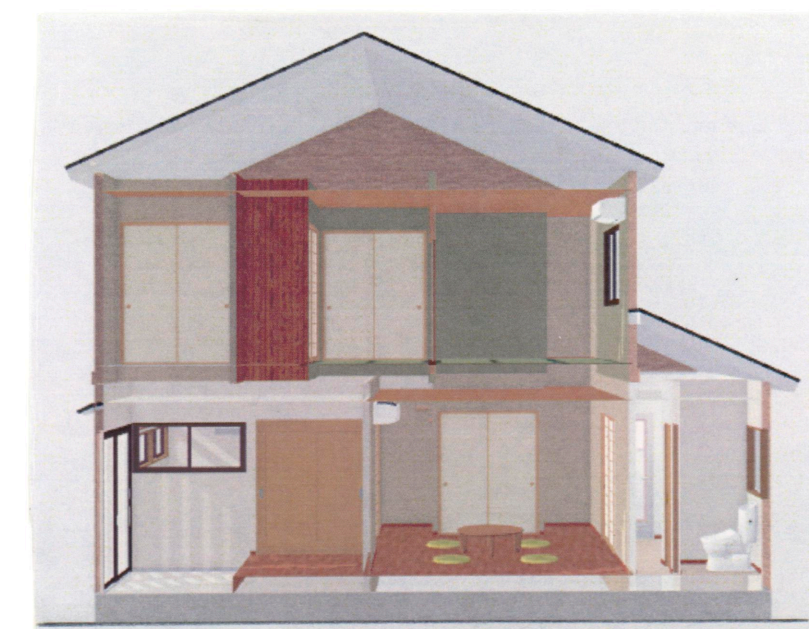
周辺案内図



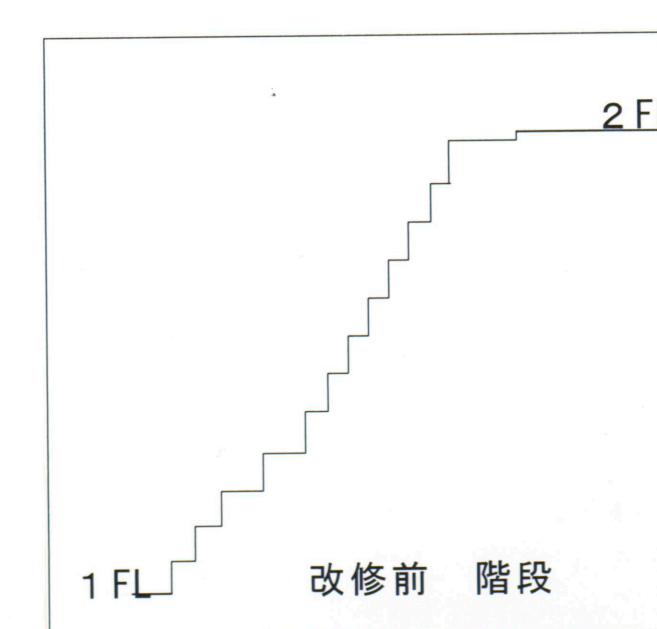
南側立面図 1:100



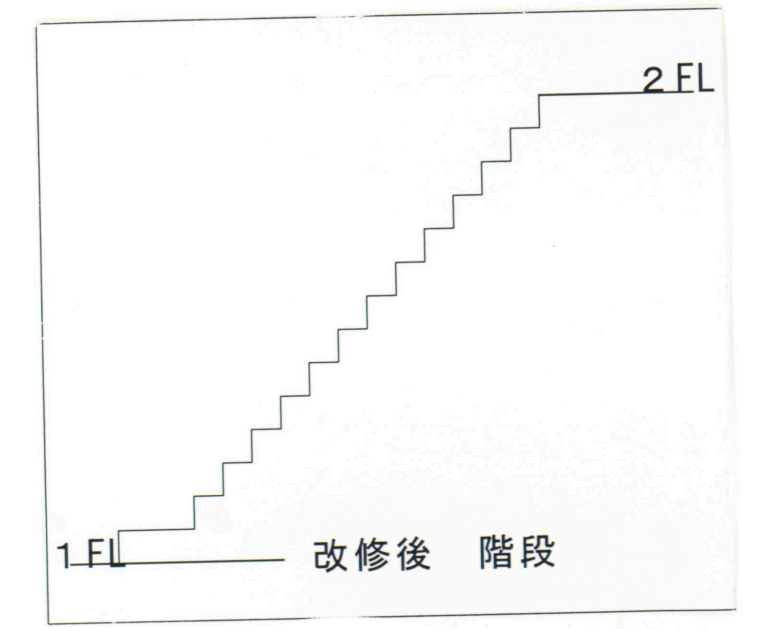
外観パース



A-A'断面図 1:100



1FL 改修前 階段



1FL 改修後 階段

手すり設置 階段完成!



まちあるき講演会

